

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **10.37人**(先週の13.39人)と減少しましたが、注意報レベルである定点あたり10人以上が続いています。地域的にみると、定点あたり30人以上の保健所管内はなく、姫路市、伊丹、明石、加古川、加東、中播磨、朝来の7保健所管内が定点あたり10人以上となっています。

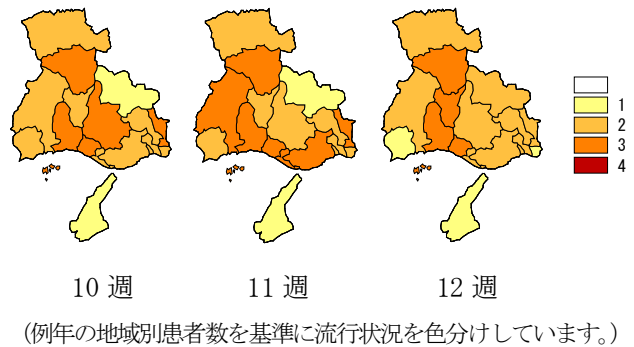
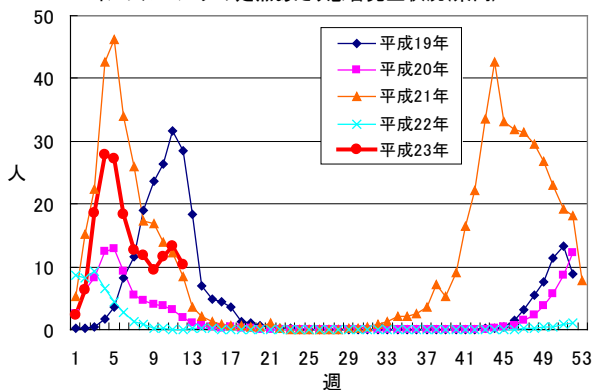
全国的には、北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県などの32都道府県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の6府県に注意報レベルの保健所管内があります。

兵庫県内の学級閉鎖等(第12週)の状況は、施設数21か所(先週147か所)、患者数212人(同1,443人)、欠席者数181人(同1,326人)と減少しました。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに228検体のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は新型インフルエンザ(AH1pdm)147件(65%)、A香港型(AH3亜型)65件(29%)、B型16件(7%)と、新型インフルエンザ(AH1pdm)の割合が半数以上を占めていますが、3月以降に搬入された検体では、新型インフルエンザ(AH1pdm)9件(17%)、A香港型(AH3亜型)34件(64%)、B型10件(19%)とA香港型の割合が大きくなっています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



### インフルエンザ重症サーベイランスの概況

県疾病対策課より情報提供がありましたので掲載します。

インフルエンザ重症サーベイランスの概況 平成23年1月1日以降(平成23年3月29日時点)

	1歳未満		1~4歳		5~9歳		10~14歳		15~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上		計		
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
兵庫県総数		0		1		0		0		2		2		4		2		4		4		4		5		0	28
うち基礎疾患を有する者		0		1		0		0		2		2		2		2		2		3		4		5		0	23
うち死亡者数		0		1		0		0		1		1		1		0		1		1		2		5		0	13
うち基礎疾患を有する者		0		1		0		0		1		1		0		0		1		1		2		5		0	12

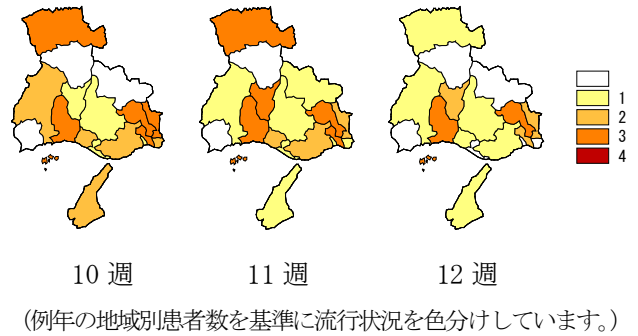
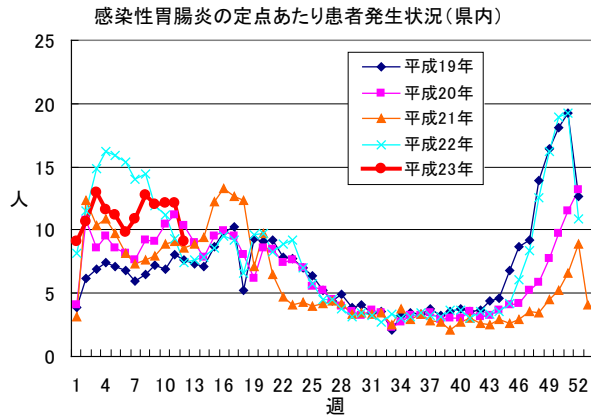
	新型(A/H1N1)		Aソ連型(H1)		A香港型(H3)		A型(亜型不明)		B型		調査中		計		
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
兵庫県総数		12		0		3		12		0		1		0	28
うち死亡者数		4		0		1		8		0		0		0	13

※1 インフルエンザ重症サーベイランスは、入院中に一時期でも急性脳症に罹患、人工呼吸器装着を装着、集中治療室に入室の患者、死亡者が対象。

※2 今週とは、先週月曜日から日曜日とする。今週以外で修正があった場合は累計に反映する。

## 感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **9.07 人**（先週は 12.17 人）と減少しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスやロタウイルスによるものが多いと考えられます。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



## 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	インフルエンザ	10.37	13.39	-3.02	6 位	咽頭結膜熱	0.89	1.05	-0.16
2 位	感染性胃腸炎	9.07	12.17	-3.10	7 位	流行性角結膜炎	0.71	0.49	+0.22
3 位	水痘	1.81	2.07	-0.26	8 位	伝染性紅斑	0.55	0.68	-0.13
4 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.37	1.93	-0.56	9 位	RS ウイルス感染症	0.30	0.40	-0.10
5 位	流行性耳下腺炎	1.15	1.43	-0.28	10 位	突発性発しん	0.30	0.53	-0.23

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

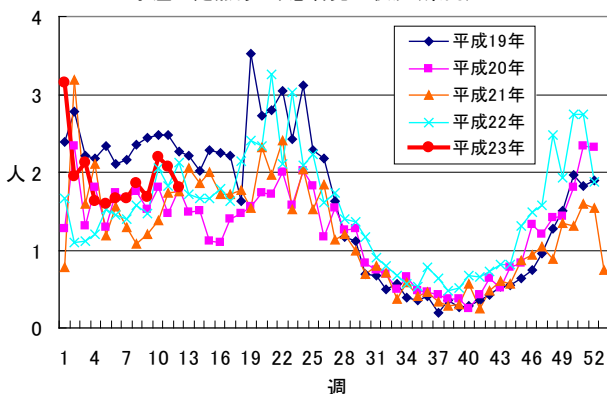
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 23 名</b> （神戸市 10 名、尼崎市 3 名、姫路市 2 名、西宮市 2 名、伊丹保健所管内 2 名、明石保健所管内 1 名、加古川保健所管内 1 名、加東保健所管内 1 名、赤穂保健所管内 1 名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 1 名</b> （有症者 1 名） （尼崎市；O103 VT1+ 女性 30 歳代）（累積報告数 6 名；有症者 4 名、うち HUS 0 名）
4 類感染症	<b>つつが虫病 1 名</b> （姫路市；男性 40 歳代 感染地域；国外、感染経路；動物・蚊・昆虫等からの感染）
5 類感染症	<b>梅毒 1 名</b> （尼崎市；早期顕症梅毒Ⅱ期 男性 20 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；同性間・異性間性的接触）、 <b>麻しん 1 名</b> （神戸市；修飾麻しん 女性 3 歳）
追加報告	<b>結核 26 名</b> （姫路市 8 名、伊丹保健所管内 1 名、宝塚保健所管内 1 名、加東保健所管内 16 名）、 <b>後天性免疫不全症候群 1 名</b> （無症候性キャリア）（感染地域；国外）（感染経路；異性間性的接触）

## 動物の感染症

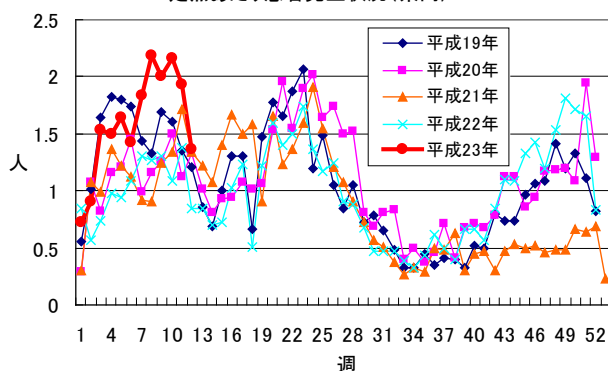
**鳥インフルエンザ (H5N1) の鳥類 1 羽**（動物（死体）の所在地 加東市；動物の種類 コブハクチョウ；動物の転帰 1週間ほど前より元気消失）

目で見る動向（県内）

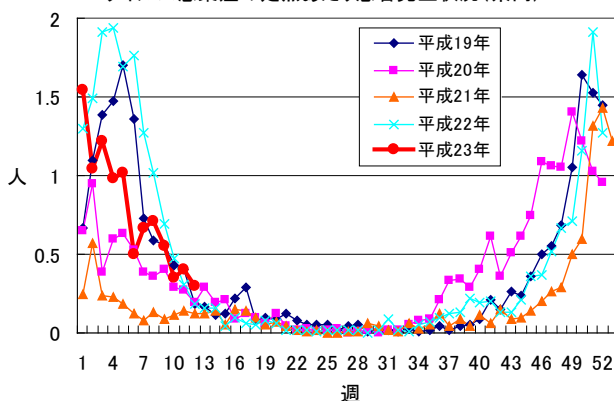
水痘の定点あたり患者発生状況（県内）



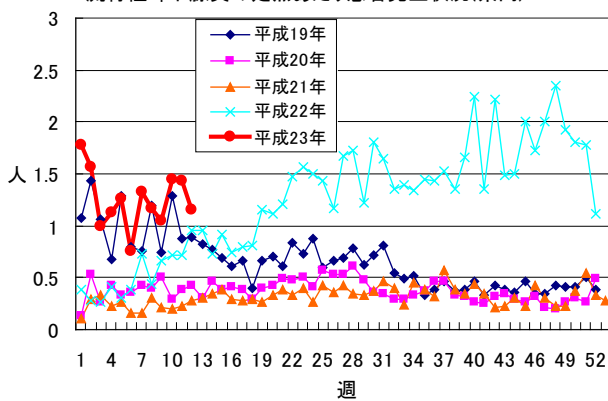
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり患者発生状況（県内）



RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況（県内）

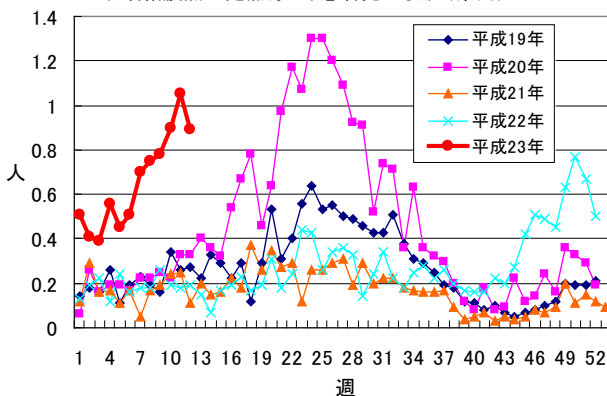


流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況（県内）



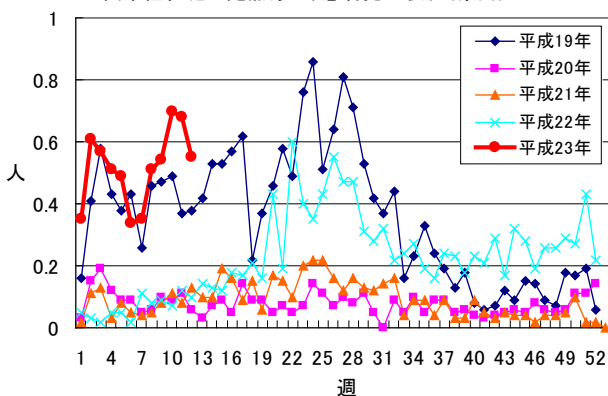
例年同時期と比較して患者数が多い。

咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。